

# 赤間まさあき

千葉県議会

## 代表質問行っ！

### 安全・安心のくらしを推進！

#### 千葉県迷惑防止条例～規制強化へ

1. 盗撮・痴漢を明記
2. 会社・学校・タクシー等も
3. 盗撮行為の罰則強化

#### ◆「千葉県迷惑防止条例」の規制強化を！

赤間：「改正の必要性を検討」との答弁があったが、その後どのような対応をしてきたのか。また具体的な改正内容と今後の取り組みはどうなるのか？

県警本部長：条例改正案のパブリックコメントを行い、早期の条例改正を目指します。改正内容は盗撮・痴漢を明記すること、場所は会社、学校、タクシー等を加え、盗撮行為の罰則を強化した3点です。

千葉日報

校内盗撮規制へ条例改正案

赤間議員は、学校や会社内での盗撮行為が摘発対象外となっている県迷惑防止条例の改正に向けた進展状況を確認した。

早川治県警本部長は「県警としても条例規制内容の見直しが必要と考えて関係局との調整を進め、条例改正案の概要を取りまとめた」と報告。具体的には、発生の多い、盗撮と痴漢を規制の対象行為に明記し、盗撮行為が規制される場所として「不特定または多数の者が利用・出入りできる施設や乗り物」を加えることにより、学校や会社内の施設、タクシーなどにおける盗撮行為を規制対象とする」と説明。盗撮行為の罰則も強化し、抑止効果を高めるという。8月末まで、改正案概要に県民意見を募るパブリックコメントを実施した。この結果も踏まえ、早期の改正を目指す。

公明 赤間 正明議員



#### 道の駅「いちかわ」への防犯ボックス設置を支援へ

#### ◆道の駅「いちかわ」への防犯ボックス設置の支援・推進を！

赤間：道の駅「いちかわ」への防犯ボックス設置について、県として支援すべきと思うがどうか。

副知事：市川市においては、補助制度を活用し防犯ボックスが設置され、現在2箇所目を準備されています。地域防犯力の向上の為、さらなる設置の意向が示された場合は協議してまいります。



安全・安心な街づくりを！



公明党千葉県議会議員 赤間正明

- ◎ホームページ・<http://www.komei.or.jp/km/akama/>
- ◎メール・masaakia36@gmail.jp
- ◎FAX・047-398-5834

#### ◎赤間まさあき・プロフィール

昭和36年10月、宮城県仙台市生まれ、創価大学卒業、千葉県議会議員6期目、文教常任委員会委員、公明党千葉県本部幹事

# 防災対策・ブッシュ型支援を主張！

◎市町村に物資を迅速に届ける仕組み～ブッシュ型支援を！

◎停電の早期復旧のため、電力会社や関係機関とルール確立！

## ●台風15号について・ブッシュ型支援の導入を！

**赤間：**千葉県として、市町村の連絡を待つのではなく、緊急物資と「災害対策現地情報連絡員」（リエゾン）を派遣すべきであり、今後「ブッシュ型支援」を行うべきと考えるがどうか。

**知事：**県としては、台風15号における対応状況をもとに、職員の早期派遣とともに、国のブッシュ型支援との連携もふくめ、迅速に物資が届けられる仕組みについて国や関係機関と協議・検討を行ってまいります。

**赤間：**台風・首都直下地震にける長期停電対策について今後どのような対策を講じていくのか。

**知事：**長期停電への対応のため、電力会社等の電源車の活用や発電機用燃料の安定的確保等についての運用面のルールを確立できるよう国や関係機関と協議・検討してまいります。

**要望：**今回の停電においては、病院も大きな影響を受けました。

特に、透析患者が十分な透析を受けることができない状況が発生。透析など命に係ることについては、十分な対応ができる体制の整備を要望いたします。

▷災害現場を調査



**市町村へ物資を迅速に**  
台風被害の千葉県議会で赤間議員

**停電の早期復旧、協定を提案**

加部の千葉県議会議員として「ブッシュ型支援」を推進する。また、市町村が被災地において「物資を迅速に届ける仕組み」を構築し、被災地の復旧に貢献する。また、市町村が被災地において「物資を迅速に届ける仕組み」を構築し、被災地の復旧に貢献する。

△公明新聞

△森田知事に要望書提出

## ●知事の政治姿勢について＜東京オリンピック・パラリンピック対策＞

◎京葉線とりんかい線の相互直通運転を！

**赤間：**東京オリンピック・パラリンピック開催時に京葉線とりんかい線を相互直通する臨時列車を走らせるべきと考えるがどうか。

**副知事：**相互直通運転の実現に向けて沿線市とも連携し、関係者に働きかけてまいります。

◎千葉県道路公社の有料道路の無料開放を！

**赤間：**オリンピック期間中、千葉県に来られる方の渋滞解消のため、千葉県道路公社の有料道路を無料開放すべきと考えるがどうか。

**副知事：**オリンピック中の無料開放については減収分の費用負担が課題であり、料金所において渋滞対策に取り組むことを考えています。

# 医療・福祉の充実を！

●ドクターヘリ救命活動・環境整備を！

**赤間：**「航空法施行規則」の改正により、大規模災害時などに迅速に出動できるようになったが、災害時における「ドクターヘリ救命活動」の重要性について千葉県としてどのように認識しておられるのか。

**知事：**災害時におけるドクターヘリの運航は極めて重要。千葉県災害医療救援計画において被災地からの患者の搬送や病院間の搬送を行うものと位置づけています。

**赤間：**平時と共に大規模災害時にも「ドクターヘリ」がスムーズな運航ができるように、「ランデブーポイント（ドクターヘリと救急車が合流する着陸拠点）」の拡充が重要であると考えがどうか。

**副知事：**災害時を含め、ランデブーポイントは重要であることから、引き続き市町村消防本部等に対し、候補地を積極的に選定いただけるよう働きかけてまいります。



●認知症対策の推進を！

**赤間：**県は「推進計画」を努力義務とするが、市町村が認知症対策を円滑に進められるよう取り組むべきと考えるがどうか。

**副知事：**認知症の方や家族の声を計画に反映させるとともに、他の自治体の取組状況などの情報を提供するなど、市町村が地域の実情に応じた計画を策定できるよう支援してまいります。

**赤間：**認知症対策には安心の共生社会をつくるための支援基盤強化が必要であり、その中核となる「認知症サポーター」が力を発揮しやすい体制の整備が必要と考えるがどうか。

**副知事：**認知症支援に関するボランティア登録など、良い事例を紹介する報告会を開催するなど、認知症サポーターが更に地域で力を発揮できるよう市町村における体制整備を支援してまいります。

●妊婦の風しん感染防止対策を！

**赤間：**妊婦の風しん感染防止のための「抗体検査事業」を、同居者まで対象者を拡大すべきと考えるがどうか。

**副知事：**抗体検査の実施状況を踏まえ、県医師会などから意見を頂き、抗体検査の対象者の拡大を検討してまいります。

●アレルギー対策の推進を！

**赤間：**県市町村における「未就学児のエピペン所持者」の実態及び消防など関係機関との連携状況はどうか。

**教育長：**平成30年度で、エピペン所有者は357人。消防機関と共有しているのは18市町村で、今後も情報共有が進むように、取り組み状況や成果を紹介しつつ、しっかり働きかけてまいります。

**赤間：**アレルギー疾患医療拠点病院と千葉県の連携による「アレルギー疾患診療連携体制」に向けた今後の取り組みはどうか。

**副知事：**今後も拠点病院と連携し、かかりつけ医に対する最新の科学的知見の提供等で、アレルギー疾患診療連携体制の向上に努めてまいります。

**赤間：**県として児童虐待が疑われる案件について、児童相談所と警察署の情報共有の現状はどうか。

**副知事：**今後、専用ネットワークで直接繋ぎ、リアルタイムで情報共有化すべきと考えるがどうか。

**副知事：**リアルタイムでの情報共有のシステムは、他県の状況を参考にしながら、検討を進めてまいります。